THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2021-2022)
国際会長主題：“Y's Men with the World”「世界とともにワイズメン」
アジア会長主題：“Make a difference beyond the 100th”「100 年を超えて変革しよう」
西日本区理事主題：“Challenges for the future” 「未来への挑戦」
中西部部長主題：”Love your neighbor as yourself!”「隣人愛を実践しよう！」
クラブ会長主題：「ずっと一緒に！・・・新しい仲間を見つけつつ」

Monthly Bulletin
第 304 号
2022 年 5 月

聖書のことば

・・。あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。
マルコによる福音書 10章43, 44節
選者 吉田 由美

５月例会プログラム

日時：2022 年 5 月 14 日（土）14：00～16：00
場所：大阪 YMCA 土佐堀会館 及び Zoom

司会 和田 早苗

1. 開会点鐘 保田 圭子会長
2. ワイズソング：奏楽のみ
3. 聖句朗読 吉田 由美
4. ゲスト、ビジター紹介 保田 圭子会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 卓話 *「地域 YMCA としての社会福祉事業 with コロナ」*
   山佐 亜津子 さん
   （大阪 YMCA 社会福祉部部長 なかのしまメンバー）
7. お誕生祝い
8. ニコニコ献金 ドライバー
9. YMCA の歌
10. 閉会点鐘 保田 圭子会長

例会当番（B） 受付当番（A）

４ 月 統 計

第１例会出席者数		例会出席率		B F 統 計	
メンバー	11 名	出席者	11 名	日本	210ｇ 累計 480 ｇ
ビジター	名	メイキャップ	1 名	外国	ｇ 累計 80 ｇ
ゲスト	名	合 計	12 名	現金	円 累計 円
コメット	1 名	在籍者	14 名	提供者：	今井 杉浦 藤好
合 計	12 名	出席率	85.7 ％		

４月例会報告

中西部 YYY フォーラム

和田 早苗

「ワイズとＹＭＣＡとユースのよりよい関係を求めて」をテーマとして、中西部 YYY フォーラムが４月９日（土）１４時～16 時、大阪 YMCA 会館チャペルで開催された。なかのしまクラブはこれを４月例会として、１１名が参加。満席状態になるほど盛会だった（４８名）。

牟中西部長の開会挨拶に続いて小川総主事から３点についてお話があった。1. 現在 YMCA で学ぶ５校 2500 名の生徒達は、日本で学び世界の平和を作る人材となるのであり、それらの留学生を育てる事業をワイズメンらと共に社会の中で担っていきたい。2. 六甲山 YMCA については、まだまだこれからの課題としてワイズのご協力も願いたい。3.生活困難な留学生が多い為ワイズからの援助は有難いとのことであった。 今回、中西部からの支援金として、牟部長より６５万５千円が贈られた。

続いて西野主査司会。「ワイズメンのサポートは大きな力」：びわこ部高島クラブ会長、牧賢範メン（幼少からプログラムメンバー、ユースリーダー、Y スタッフ、現在ワイズメン）。「見つめ直そう！これからの YYY」：びわこ部彦根シャトークラブ河口裕亮メン（西日本区Ｙサ・ユース事業主任。ワイズ入会以前、Y もワイズも知らなかったと言われている）。お二人の講演を聞いた。

牧メンがワイズを知った時、この大人達は何をしているのかな？と言うところから付き合いが始まり、声掛けや面倒見、リーダーに協力的であることが次第にわかった。しかし大人の人だから自分達からはなかなか話し掛けられなかった。牧メンのお話から以前はＹのブランチが沢山あり、ローカル色豊かにアクションが起こせる時であったなあと、懐かしく私は思い出した。特にコロナ禍の現在、YYY 三つ巴のアクションが不可能というのは本当に歯がゆい思いがした。

河口メンは YMCA、ワイズを全く知らなかったが、YMCA をサポートし、イエスキリストの精神に倣い、奉仕活動をしていくところなのだと、自クラブ、部、区の役員など何度もこなしているうちにわかるようになり、自分が手を挙げ誓いをして入会した意味が分かるようになった、と話された。また、地域 Y でリーダーと共に SDGｓに取り組む同盟規模のアクションに応募して受かったプログラムについて話があった。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「西日本区オンライン交流会」に参加して

保田　圭子

3/26（土）19:00 より開かれた、西日本区オンライン交流会に参加しました。その日、我が家は、孫娘が引っ越してきて、落ち着いてパソコンにむかえない状況だったので交流会やめようかと思ったのですが、そうだ！と思いつき、また杉浦さんにお願いして、パソコンを持って杉浦さんの宅にお邪魔することにしました。パソコン２つ並べるとハウリングがおきるかも、と、杉浦さんが別の部屋に移動してくださったり、ちょっとご迷惑かけたかな？と思いつつオンライン交流会が始まりました。（でも、ちょっとワクワク感がありました。）

新山理事の開会点鐘、挨拶に始まり、今回のメインは無作為に 8 人ずつくらいにわけられた、グループによるグループディスカッションでした。私のグループの司会進行は森田惠三さんで、はじめに「ワイズ 100 周年について各クラブでどのような話し合いがされていますかね？　えーと、レディファーストストで保田さんからどうぞ」と言われて飛び上がりました。　「コロナで例会ができず、ようやく全員が zoom を使って例会ができるようになって今年度はほとんど休むことなく例会ができるようになったところです。100 周年についてはまだなにも・・・。」とちょっとしどろもどろ…。でも後の人も、みなまだ全然考えてません！だったのですが。

後半の話し合いでは全員 zoom が使えるようになったというクラブがありましたが、うちは 2 人しか使えずやる気もない、という話からはじまって人が増えない、高齢化するばかりという愚痴（？）がでていました。これに対して無理に若い人を自分のクラブに入れるより若い人ばかりのクラブを立ち上げる手助けをしたらどうかという意見がだされ、なるほどそれも一案だなーと思いました。もちろんすぐに結論が出るわけではありませんがなかなか面白いグループディスカッションでした。100 周年の事も少しずつ考えていかなければなりませんね。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

京都部会に参加して

藤好　基子

＜第 26 回京都部部会＞が、４月 17 日（日）に開催されました。京都部のメンバーさんたちもですが、中村隆司部長の２年越しの念願の部会です。２期部長をなさった情熱は、会場のウェスティン都ホテル京都に溢れていました。

参加者は 355 名もあり、笑顔で久しぶりにお会いする方々と挨拶を交わしました。 第１部の式典では、バナーセレモニーが圧巻で 18 クラブさんの前期・今期の会長さんのお披露目です。若い方が多くいらっしゃって京都部の勢いを感じました。

第２部は基調講演「この美しい地球を後世に残すために」～今、私たちにできること～と題して、気象予報士の正木明氏のお話しを聞きました。天気予報を正しく使う方法や、地球温暖化について学ぶ時となりました。国連が推奨する私たちができる気候変動対策は①家庭で節電する②徒歩や自転車で移動する、または公共交通機関を使用する③野菜をもっと多く食べる④長距離の移動手段を考える⑤廃棄食品を減らす⑥リデュース、リユース、リペア、リサイクル（4R）⑦家庭のエネルギー源を変える⑧電気自動車に乗り換える⑨環境に配慮した製品を選ぶ⑩声を上げる　です。『緩和』と『適応』で襲ってくる前に十分な対策を！と。SDG‘ｓ のバッジを付けているだけでなく今、出来ることを考えなくてはと実感しました。

第３部は、お待ちかねの懇親会で、どの人も笑顔に溢れ美味しいお食事を楽しみました。今回の長時間（13：30～19：30）の京都部会で、一番印象に残ったのは YMCA の歌を３番まで清聴したことです。♫民族の　へだてとりさり　手をつなぎーつとなりぬ　もろともに　心合わせて　みのりあり　YMCA　われらまた　誓いて勝たん♫　　覚えておきましょうね！

４月第２例会および「次期に向けての話合い」報告抄

日時：2022 年４月 20 日（水）18:30～
場所：大阪 YMCA 土佐堀館 7F 703 教室
出席者：10 名

1. 今年度「うなぎの森」についての説明があり、植樹代（2000 円/1 本）の徴収があった。
2. 第３回東西日本区交流会（2023 年２月）のアピールがあった。

-次期に向けて-

- 会長主題、活動方針の発表がなされた
  会長主題**「人との出会いで元気と笑顔を」**
  （藤井弥生次期会長）
- 第１例会の持ち方について話し合った。次期の適当な時期でのグランヴィアＨでの例会再開を視野に入れつつホテルとの交渉を始めてはどうかとの意見が多く出された。
- お誕生祝いの「バースデーカード」について、再考の必要が話し合われた。
- 「ニコニコ献金」の集計を例会中に行うことは、控えることとした。

ミャンマーに思いを寄せて【11】

杉浦 眞喜子

2000 年 4 月に MCC にミニバスを贈った頃から、なかのしまは、前述の「・・・基本方針」に沿って、主に MCC の Jabu さんとの関係でいくつかのミャンマーに関わる事業を行いました。まず MCC の DAP（Differential Abled Program 障がいのある方達を対象とした縫製指導プログラム）に山地さんを派遣すること。Jabu さんからの要請は「年２回の派遣」でしたが、なかのしまには２回分の往復旅費をお出しする余裕はありませんでしたので、山地さんには 1 回分の往復の飛行機運賃しかも格安チケット料金と僅かな材料費をお渡しし、これで 2 回の DAP のお働きをして頂くことになりました、これは、2001 年から 2007 年まで 7 年間続きました。

Jabu さんからの要請で行った「ミャンマーからの研修生の受け入れ」も私たちにとっては、意義のある事業でした。2000 年 11 月に 2 人、2002 年 10 月に 6 名、MCC からの研修生を受け入れました。

最初のお二人、Ja Bouk さん、Nan Bouk さんの時は、10 日間メンバーが交代で「日替わりホームステイ」を引き受け、幼稚園、障がい者施設などの見学、観光に付き合いました。2002 年の時は、Jabu さんをはじめとする MCC メンバー6 名で、服部緑地のユースホステルに宿泊していただきました。

この二つの「受け入れ」は、どちらも実際にご本人たちが日本の土を踏むまでに、随分ヤキモキさせられました。未だ軍事政権下であったためか、出国のままならない彼女たちのために、大阪 YMCA の力を借りたり、東京のミャンマー大使館まで足を運んだり、たくさんの書類を揃えたり。このようなことをする中で、私たちは改めて当時のミャンマーの方たちの置かれている現実を知ることとなり、彼女たちに実際に会えた時、嬉しい思いとと共に、愛おしい思いさえ持つことになりました。この思い、今のミャンマーの方達への思いと少し通じるような気がします。

「私と旅行」

吉岡　香代子

私が旅行したのは今思えば数えきれない。日本だけでなく世界の国々へも行った。日本国内は休暇が取れたら一人旅が多く、一緒に行く人と意見が合わなかったらお互いに気まずい思いをするのが嫌だったから。旅先で犬に追っかけられたり、海岸で昼食後気付けば昼寝していたこともあった。年末から正月休みには国内の一人旅は続いた。

そのうちに旅行社の海外ツアーに一人でも参加することが多くなった。大阪 YMCA から東南アジア 5 カ国へ 10 日間行く機会を貰ったこともある。国内旅行とは違ってその国の人々に感動した。国内旅行の数は減り、数人で毎月貯金をして西ドイツ・オーストリア、ニュージーランド等へ行った。郵政省のボラティア貯金による縫製指導ツアーでミャンマーへ５回参加した。その後年末年始はミャンマーでお正月を迎えることが多くなった。縫製教室で一ケ月間お手伝をさせてもらったこともある。

ワイズメンズクラブのアジア大会が 2007 年にタイで開かれ、タイやカンボジアをまわった。また 2012 年ノルウェイのスタンバンゲルで開かれた世界大会に参加し、その後ノルウェイ沿岸を沿岸急行船でクルージングしたことは、いい思い出になった。帰路オスロから飛行機で関空まで 10 時間かかった。ワイズのアジア大会と世界大会は、毎年交互にあるが、最近はコロナで中止になったり、行ったことがある国だったりする。

テレビを見ていて行ったことがある場所や国が映ると、行った! 行った! ここも行った!！ となぜかうれしくなる。マスク無しで、町を歩き、交通機関に乗れ、また友人と食事、おしゃべりが出来る時が早く来てほしい。　2025 年には大阪万博が開催される。体に気を付けて絶対に行こうと思う!！

懐かしい元メンバーの方からのお便り

北村　雅代　さんより

突然ブリテンに載せる手紙を書くようにと言われ困惑しています。正直なところワイズメンについて十分に理解できないまま、自分の都合で退会しましたので。

親の介護に続いて二人の娘の出産に伴うもろもろの些事が終わるころ、海外駐在中の夫も誰もいない家にワイズの例会から夜に帰宅するのが大変怖かった。玄関ドアを開けて大声で怒鳴ったものです、「誰か居ませんか？居たら今出て行ってくださいよ」なんてね。

なかのしまクラブに入会していたころは楽しかったですね。六甲の YMCA ロッジのパーティでは、調子に乗ってめまいがするほどワインを飲み横になって酔いを覚ましたこともあったし、街頭での募金活動では大きな声を出せました。リレー形式のマラソン大会のためにわざわざ買ったスポーツウエアは、それ以来使うことなくそのまま置いてあります。

ご縁が無くなってから 15 年近くになりますか。4 年以上前に駅から徒歩５分ほどのマンションに移転し、今では夜の外出も怖くなくなりました。一軒家にいた頃は苦痛だった真夏の庭木の水やりからも解放され、今は夫とふたり、単語が出てこなくて「ほら、アレアレ」「ああ、ソレソレ」を結構多用しての会話で不自由なく暮らしています。何年も前のテレビで樹木希林さんが出演した富士フィルムのコマーシャルに「それなりに・・・」という言葉が使われていて可笑しかったのを覚えているけど、私もそれ（年齢）なりの髪、目、歯、しみ、しわ、記憶力などなど仲良く古びてきました、けどいいの、当然だから。

私がクラブの一番好きなところは何と言ってもメンバーの性格でしょう。俗気、計算高さが全く無いこと。きっと今もお変わりなく良い雰囲気を持ったお仲間なのでしょうね。どうぞお元気でこれからも活躍をお続け下さいね。

唐突ですがウクライナの惨事が一刻でも早く収まりますように。

北村　雅代

YMCAニュース

★第 337 回早天祈祷会

日時：2022 年５月 20 日（金）7：30～8：15
※朝食会はございません。
証し：小笠原 浩一さん
（宣教落語家、国際飢餓対策機構親善大使）
場所：大阪 YMCA 会館　10 階　チャペル
※中止の場合は大阪 YMCA ホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。

★大阪 YMCA 創立 140 周年記念礼拝ご案内

大阪 YMCA は 1882 年６月４日に創立し、今年で創立 140 周年を迎えます。皆さま、ボランティアやメンバー、職員としての関わりにより使命実現を目指して歩んで参ることができました。皆様のお支えに心より感謝申し上げます。

YMCA に関わる皆さまと創立の志に立ち返り、心新たに未来へと歩みを進めるため、下記の通り創立記念礼拝を開催いたします。祈りと希望を共有するひと時にしたいと願っております。皆様のご参加をお待ちしております。

大阪 YMCA　会長　岩坂　二規
総主事　小川 健一郎

日時：　2022 年６月４日（土）時間未定
場所：　大阪 YMCA 会館　10 階チャペル
※オンラインでも配信される予定です。詳細は大阪 YMCA のホームページにご案内いたします

チャリティーランに留学生 12 名の参加をサポートしてくださいましたこと、心より御礼申し上げます。このようなイベントに参加したくても、参加費用がかかるものには、留学生にとってなかなか容易ではないのが現状です。そのような折に、なかのしまクラブの皆様がサポートしてくださったおかげで参加が可能となりました。以下、参加した学生からのコメントです。

担当主事：古谷　佳之

『この度、チャーリティーランに参加させていただいたことは、とても良い経験となりました。私は日本に来て初めてこのようなイベントに参加しました。最初は少し緊張していましたが、友人と一緒に参加できたおかげで、次第に緊張感もなくなり、爽やかな空気を楽みました。』

『開催場所となった公園は緑も多く、ちょうど桜が咲き始めた時でした。自然に囲まれたところでランニングができ、精神的にも肉体的にも良い運動になりました。』

『このような機会をいただきまして本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。』

ニコニコ献金 ４月　16,030 円

〈ニコニコメッセージ〉　― ４ 月 ―

☆ 久し振りの４月例会が YYY フォーラムで、たくさんの方に会えて嬉しいです。ヤングもたくさんで来ていて頼もしく過ごせました。何時迄も仲良くお交わりできる様祈りつつ。（今井）
☆ 食卓の横の窓辺に、黄色のマーガレットを植えたプランターを置きました。毎朝、毎夕べ、楽しみに眺めています。（杉浦）
☆ 桜は満開で我が家の桜も美しい！　久しぶりに庭のある生活です。花壇の手入れをしたいです。（武井）
☆ とりいさんにあえてうれしいです。（武井美帆）
☆ お久しぶりに例会参加です。いつでもあたたかく迎えてもらえる空気感に感謝です。（鳥居）
☆ 暖かくなり、桜も散り始めました。また中西部の方達にお会い出来てよかったです。（藤井）
☆ 中西部 YYY フォーラムに参加し、コロナの感染者増加から、なかなかお会いできなかった他クラブのメンバーさんたちにお会いでき本当に嬉しかったです。顔を合わせ、声を掛け合うって素敵ですね。鳥居さんのお顔も嬉しかった！（藤好）
☆ 春の日差しが本当に心地良い日が続いています。ようやく来日出来た学生も桜の花を見て感動していました。その姿を見て私も感激しました！（古谷）
☆ とても久しぶりに感じる YYY フォーラム。六甲で開催が叶わなかったのは残念ですが、参加者のお顔を直接見れることが何よりでした。（山佐）
☆ 孫娘との生活、とってもうれしいのですが、私にとってカルチャーショックもあります。なかのしまに若い人がほしいけど、あまり世代がちがう人もねえーと思ったりもしています。（保田）
☆ 大川沿いの満開の桜、竹田城跡の半つぼみの桜、越前大野の花桃、４月は花見三昧。With Corona での楽しみ方を見つけました。（吉田）
☆ 本日は 40 名も集まれてよかったです。久しぶりの方々とお顔を合わせていいですネ　この感じ！！（和田）

ご 報 告

先月の第２例会決定の通り、下記２件「クラブファンド」から献金しました。それぞれからご丁寧な領収書をいただいています。
・未伝地ミッション（ミャンマー難民支援献金）へ　10 万円
・NPO 法人ゆうハウス アトリエゆうハウス　へ　３万円

◇5 月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*
杉浦　眞喜子　８日

編　集　後　記

GW に入ります。行動制限が緩和され、「3 年ぶりに・・」とウキウキした気分ですが、でも「本当にいいの・・？」との思いも。ワイズは仕上げの時期、来期に向かっての助走の時期、バランス感覚を持ちつつ、やるべきことをしっかりやっていきたいですね。